

THR Series THR30IIA Wireless

リファレンスマニュアル



目次

はじめに	2
特長	2
同梱品 (お確かめください)	2
各部の名称と機能	3
コントロールパネル	3
リアパネル	6
接続	7
接続例	7
電源	8
ギターとワイヤレス接続する	9
スマートデバイスと接続して使う	10
コンピューターと接続して使う	12
困ったときは?	14
仕様	16
技術仕様	16
電源ボタン LED 状態一覧	17
信号図	18

はじめに

このたびは、ヤマハ THR30IIA Wirelessをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この楽器は弾き語りを楽しむアコースティックギタリストに、自宅や練習スタジオ、外出先などでお使いいただけるギターアンプです。

この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいませようお願いします。

特長

- ヤマハ独自の「VCM Technology」を駆使したマイクモデリング機能を搭載したギターアンプ
- Line 6製ギターワイヤレス トランスミッター Relay G10T(別売)をギターに接続して、ワイヤレスで使用可能
- Bluetooth®接続により、スマートデバイスやコンピューター等から音楽再生や音色のエディットが可能
- 内蔵充電電池で電源アダプターなしでの使用が可能
- ヤマハ独自の技術である「エクステンデッドステレオ」により、本体サイズからは想像できない広がりのあるステレオ再生が可能
- ステレオイメージャーにより、ギターの音に広がりを持たせ、ボーカルを際立たせることが可能
- アンプサウンドをコンピューターにそのまま入力するオーディオインターフェース機能を搭載
- スタインバーグ製のプロクオリティの音楽制作ソフト「CubaseAI」のダウンロードアクセスコードを同梱
- クロマチックオートチューナーを内蔵

* VCM Technology とは？

ヤマハ独自の技術である「VCM Technology」は、アナログ回路の特性を素子レベルでモデリングし忠実に再現することを可能にする技術です。

同梱品(お確かめください)

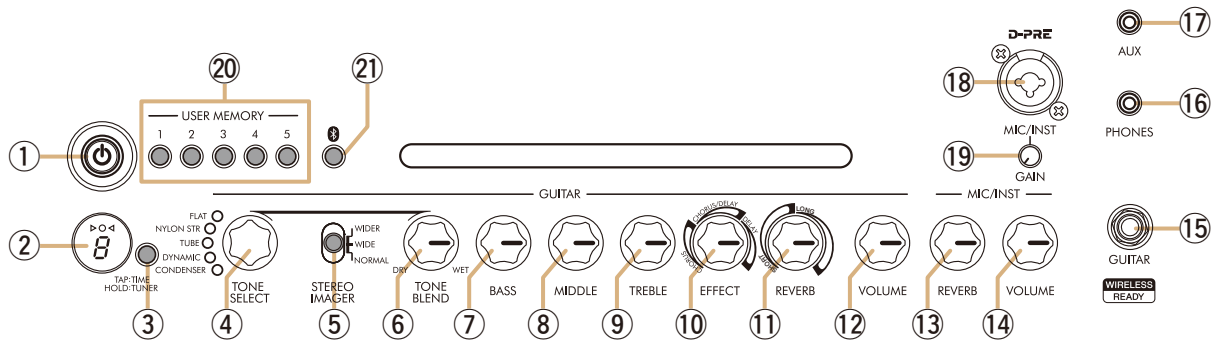
- 電源アダプター × 1
- クイックガイド × 1
- セーフティインストラクションズシート × 1
- サービス拠点リスト × 1
- Cubase AI ダウンロードインフォメーション × 1

* 本書で説明する Line 6 製ギターワイヤレス トランスミッターは、Relay G10T と Relay G10TII が対象です (以下、Relay G10T と略)。

各部の名称と機能

コントロールパネル

THR30IIA Wireless



① [](電源ボタン)/電源ボタンLED

本機の電源ボタンです。

電源がオンの時、電源ボタンLEDが点灯します。また、選ばれているトーンのランプとスピーカーキャビネット内のパワーランプが点灯します。

② LEDディスプレイ

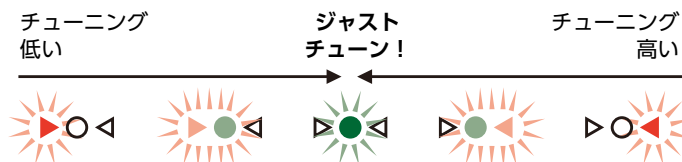
THR30IIA Wirelessの各種設定や状態を表示します。

③ [TAP/TUNER]ボタン

■チューナー機能

1秒間押しすと、チューナー機能がオンになり▷◁が点灯します。

基準ピッチA4=440Hz 専用のチューナーです。合わせたい音程がLEDディスプレイに表示されるようにギターをチューニングします。▷◁中央の○だけが点灯するようにチューニングします。



[TAP/TUNER]ボタンをもう一度短く押しすと、チューナー機能*がオフになります。

* チューナー機能がオンの状態では、ギターの音がミュートされます。[AUX]端子、[USB]端子、Bluetoothからの音は本体スピーカー、[PHONES]端子に出力されます。

■タップテンポ機能

[EFFECT]つまみ⑩でCHORUS/DELAYまたはDELAYを設定している場合は、このボタンを押し間隔(2回以上)でディスプレイ音のテンポを設定できます。

■エクステンデッド ステレオ設定

[TAP/TUNER]ボタンを5秒以上押しすることで、エクステンデッド ステレオのオン/ オフを切り替えます。エクステンデッドステレオは、ステレオ出力の広がり感をより強調する機能です。エクステンデッドステレオは、[AUX]端子、[USB]端子、Bluetoothからのステレオ音声にかかります。ギターのリバーブ音にもかかります。エクステンデッドステレオの設定(オン/オフ)は、電源を切っても保持されます。

オン：LEDディスプレイ②の“#”消灯(初期設定)

オフ：LEDディスプレイ②の“#”点灯

④ [TONE SELECT]つまみ

トーンを選択します。選択されているトーンのランプが点灯します。電源を入れると、前回選択したトーンが自動で設定されます。

● トーン一覧

トーン	解説
FLAT	入力された信号をそのまま出力します。[TONE BLEND]つまみはゲインとして機能します。
NYLON STR	クラシックギターやエレクトリックナイロンギター演奏に最適なサウンドです。
TUBE	アコースティックギターの音を真空管マイクで拾ったようなサウンドを再現します。豊かなミッドレンジが特徴です。
DYNAMIC	アコースティックギターの音をダイナミックマイクで拾ったようなサウンドを再現します。芯があって引き締まった音の特徴です。
CONDENSER	アコースティックギターの音をコンデンサーマイクで拾ったようなサウンドを再現します。自然で明瞭な音の特徴です。

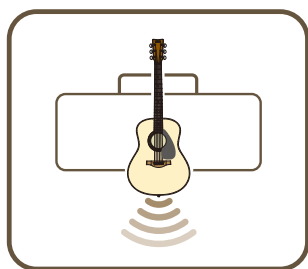
⑤ [STEREO IMAGER]スイッチ

ステレオイメジャーを切り替えます。ステレオイメジャーは、ギターの音像を左右に広げる機能です。ギターの音像を左右に広げることで、ボーカルの音を際立たせることができます。ステレオイメジャーは、[GUITAR]端子⑮から入力されたギターの音のみにかかります。

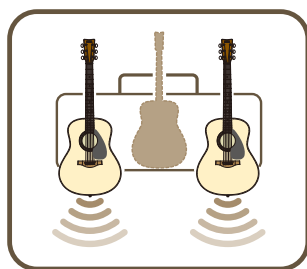
[NORMAL]：ギターとボーカルの音を中央に置きます。通常の状態です。

[WIDE]：ギターの音像を左右に広げます。

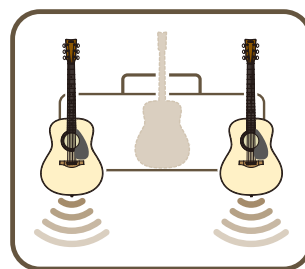
[WIDER]：ギターの音像を更に左右に広げます。



[NORMAL]



[WIDE]



[WIDER]

⑥ [TONE BLEND]つまみ

エレクトリックアコースティックギターの前に立てたマイクのモデリング音と、ギターのピックアップからの音をブレンド*します(最大でマイクモデリングの音のみ、最小でピックアップからの音のみ)。

* [TONE SELECT]つまみ④でFLAT を選択している場合は、[TONE BLEND]つまみはゲインとして働きます。右方向に回すほどイコライザーの前の音量が増加します。

⑦ [BASS]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど低域が強調されます。

⑧ [MIDDLE]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど中域が強調されます。

⑨ [TREBLE]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど高域が強調されます。

⑩ [EFFECT]つまみ

[GUITAR]⑮端子に接続したギターにかけるエフェクトの種類とかかり具合を設定します。CHORUS(コーラス)、CHORUS/DELAY(コーラスディレイ)*1、DELAY(ディレイ)*1の3タイプのエフェクトを切り替えます。各エフェクトは右方向に回すほど深くかかります*2。

*1 CHORUS/DELAYまたはDELAYを選択している場合は、[TAP/TUNER]ボタン③を使ってディレイタイムを設定できます。

*2 つまみを左いっぱいに戻すと、エフェクトはオフになります。

⑪ [REVERB]つまみ

SHORT(ショート)、LONG(ロング)の2タイプのリバーブを切り替えます。リバーブは右方向に回すほど深くかかります。つまみを左いっぱいに戻すと、エフェクトはオフになります。

⑫ [VOLUME]つまみ

ギターの最終音量を調整します。

⑬ [MIC/INST REVERB] つまみ

[MIC/INST]端子⑱に接続したマイクや楽器のリバーブ量を調整します。リバーブは右方向に回すほど深くかかります。

⑭ [MIC/INST VOLUME]つまみ

[MIC/INST]端子⑱に接続したマイクや楽器の音量を調整します。

⑮ [GUITAR]端子

ギターを接続する端子です。Line 6製ギターワイヤレス トランスミッター Relay G10Tを接続*して充電できます。

* Relay G10Tを10秒以上接続すると、ワイヤレス接続のチャンネルを自動で設定できます。

⑯ [PHONES]端子

ヘッドホンに接続*するステレオミニフォン端子です。

* [PHONES]端子にプラグを差し込んだ状態では、THR30IIA Wirelessのスピーカーから音は出ません。

⑰ [AUX]端子

オーディオ機器を接続*するステレオミニフォン端子です。

* [AUX]端子からの入力信号は、[USB]端子㉓には出力されません。

⑱ [MIC/INST]端子

マイクや楽器を接続するコンボジャック端子です。この端子には、XLRタイプとフォンタイプ(バランス/アンバランス)のプラグを接続します。

⑲ [GAIN]つまみ

⑱ [MIC/INST] 端子の入力信号レベルを調整します。

⑳ [USER MEMORY] [1] [2] [3] [4] [5] ボタン

GUITAR部の各コントローラー (TONE BLEND、BASS、MIDDLE、TREBLE、EFFECT、REVERB)のセッティング、MIC/INST部のREVERBのセッティングとSTEREO IMAGERのセッティングを5つ保存できます。

セッティングを保存するには、[USER MEMORY]ボタン[1]から[5]のうち任意のボタンを2秒以上長押しします。

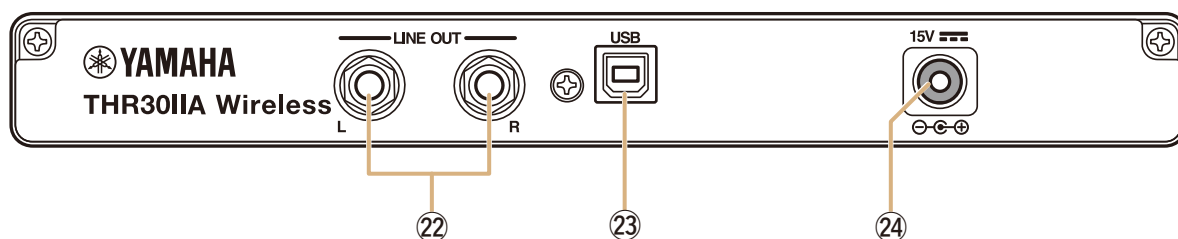
保存完了時には、LEDディスプレイ②にボタン番号が表示されます。保存したセッティングを呼び出すには、保存したボタンを押します(2秒以下)。

㉑ [Bluetooth] ボタン

Bluetoothの操作をします。3秒以上押しすとペアリングモードになり、LEDディスプレイ②が緑色に点滅します。

Bluetooth接続の詳細は、「スマートデバイスと接続して使う」をご確認ください(10ページ)。

リアパネル



②② [LINE OUT] [L] [R] 端子

ラインレベルのオーディオ信号を出力するインピーダンスバランス型の端子です。ライン入力を持つ外部機器を接続します。この端子には、ステレオまたはモノラルタイプのフォーンプラグを接続します。

②③ [USB]端子

THR30IIA WirelessとコンピューターをUSBケーブルで接続する端子です。

②④ [15V] DC IN端子

付属の電源アダプターを接続する端子です。

初期化について

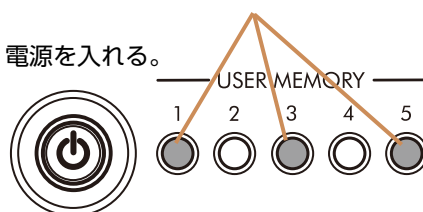
[USER MEMORY] [1]、[3]、[5] を同時に押しながら電源を入れると、ユーザーメモリーの内容をすべてリセットできます。

ご注意

初期化を実行すると、ユーザーメモリーに登録した内容はすべて工場出荷時の内容に書き換えられます。

[1]、[3]、[5]を同時に押しながら、

電源を入れる。

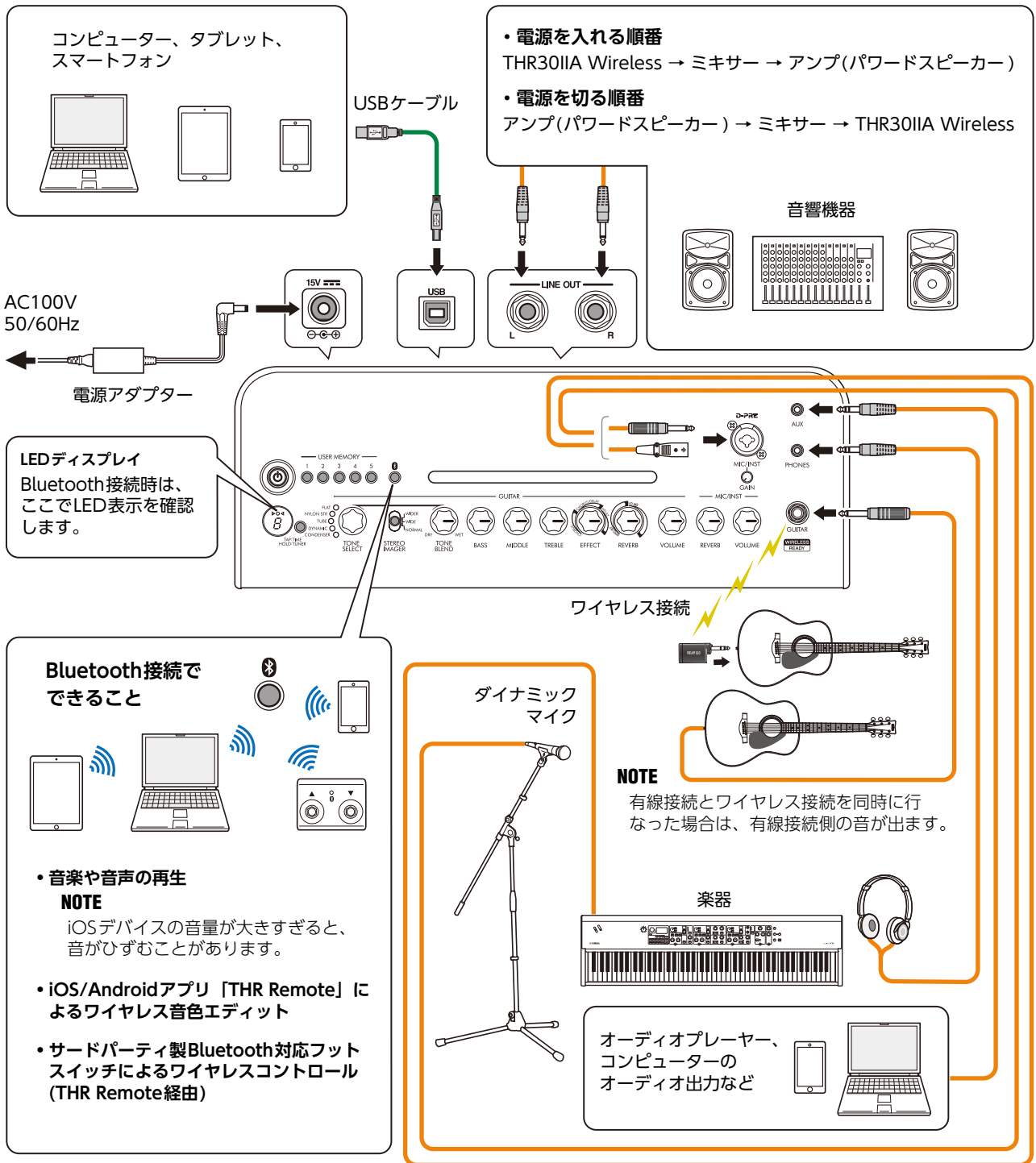


接続

THR30IIA Wirelessは、各種ケーブルによる有線接続と、ワイヤレス接続を使用できます。

接続例

- 有線接続は、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。
- 外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを使い、確実に接続してください。



* イラストや図面はすべて操作説明のためのものです。実際の仕様と異なる場合があります。

USB端子ご使用時の注意

THR30IIA WirelessのUSB端子とコンピューターを接続するときは、コンピューターやTHR30IIA Wirelessの停止によるデータの損失を防ぐために、次の注意事項を守ってください。停止したときは、再起動してください。

ご注意

- USBケーブルはABタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0ケーブルは、使用できません。
- USB端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- USBケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了し、コンピューター側の出力コントロールを最少にしてください。
- USBケーブルの抜き差しをする前に、THR30IIA Wirelessの[VOLUME]つまみと[MIC/INST VOLUME]つまみを最小にしてください。
- USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

電源

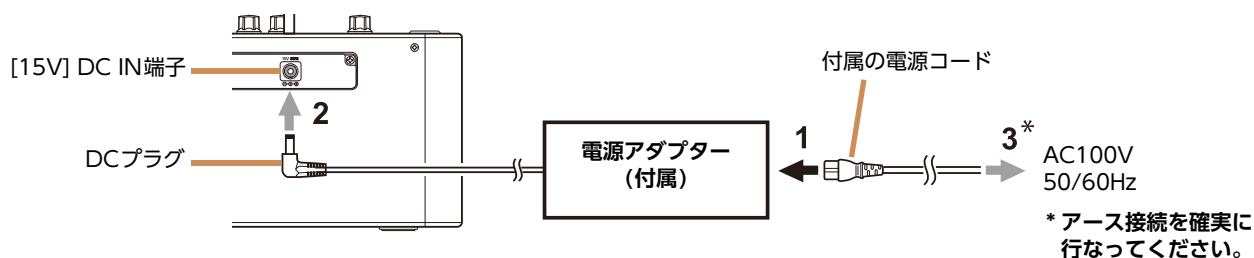
THR30IIA Wirelessは、電源アダプターか内蔵充電電池*を使えます。

* THR30IIA Wirelessを内蔵充電電池で使う場合は、最大音量が小さくなります(16ページ)。


■電源アダプターを使用する場合

付属の電源コードを電源アダプターに接続*します。付属の電源アダプターのDCプラグをTHR30IIA Wirelessリアパネルの[15V] DC IN端子に接続します。ACプラグはAC100V 50/60Hzコンセントに接続します。

* 接続の前に、同梱のセーフティインストラクションズシートを必ずお読みください。




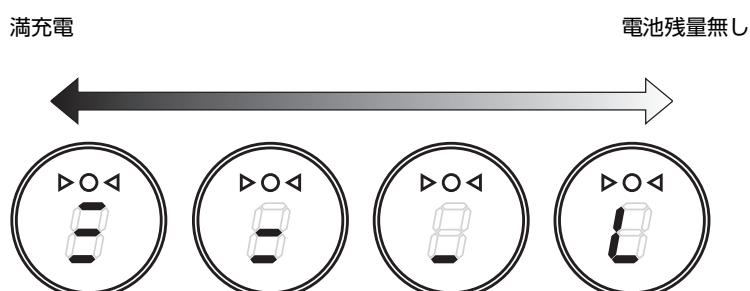
■電源の入れかたと切りかた

THR30IIA Wireless上面の[](電源ボタン)を長押しすることで、電源をオフ*します。電源をオンにすると電源ボタンLEDが点灯します。THR30IIA Wirelessの充電中は緑色に、それ以外は赤く点灯します。

* 電源オンオフの前に、同梱のセーフティインストラクションズシートを必ずお読みください。

■バッテリー残量を確認する

THR30IIA Wireless上面の[](電源ボタン)を押すことで、バッテリー残量を確認します。バッテリー残量は、3本、2本、1本、L(Low)の4段階で表示されます。



■内蔵充電機の充電方法

付属の電源アダプターをリアパネルの[15V] DC IN端子につなぐと、自動的に充電を開始します。充電中は電源ボタンLEDが緑色に点灯*します。

* 電源ボタンLEDの表示の意味は、「電源ボタンLED状態一覧」をご確認ください(17ページ)。

ご注意

- 温度が非常に高いところや低いところでは、充電ができない場合があります。
- 機能を維持するため、半年に一度は充電するようにしてください。

■Relay G10Tを充電する

Relay G10T*1をTHR30IIA Wireless上面の[GUITAR]端子に接続すると、自動的に充電が開始*2されます。Relay G10TをTHR30IIA Wirelessの[GUITAR]端子から一度抜いた後、充電を再開する場合は、2秒以上たってからTHR30IIA Wirelessの[GUITAR]端子に接続します。

*1 Relay G10TのLEDの表示の意味はRelay G10Tのマニュアルをご確認ください。

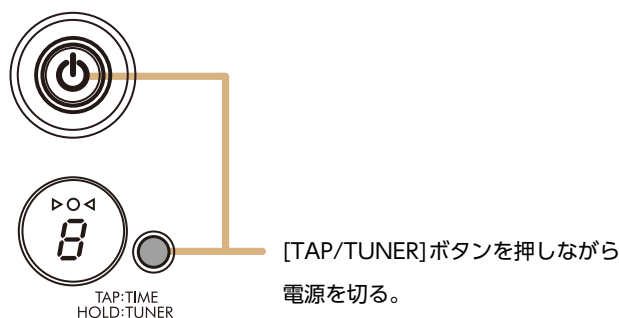
*2 THR30IIA Wirelessに付属の電源アダプターが接続されていない場合は、Relay G10Tの充電は開始されません。

ご注意

- 充電後はRelay G10TをTHR30IIA Wirelessから抜いてください。
- THR30IIA Wirelessの電源がオフで、電源アダプターが接続されているときにRelay G10Tを接続すると、Relay G10Tは充電されます。Relay G10Tの充電が完了すると、THR30IIA WirelessはRelay G10Tへの給電を停止する初期設定になっています。そのため、THR30IIA WirelessにRelay G10Tを接続したままにすると、Relay G10Tのバッテリーが放電される場合があります。Relay G10Tのバッテリーを放電しないためには、THR30IIA WirelessのECO設定をオフにします。

●Relay G10TのECO設定を変更する*1 *2

1. THR30IIA Wirelessの電源を入れます。
2. [TAP/TUNER]ボタンを押しながら、THR30IIA Wirelessの電源を切ります*3。



*1 THR RemoteでもTHR30IIA WirelessのECO設定を変更できます。

*2 ECOオンとECOオフは切替式です。設定を切り替えたい場合は、手順1～2を再度行ないます。

*3 ECOオンからECOオフに切り替えた場合は、次回Relay G10Tを充電したときにLEDディスプレイに“C”と表示されます。

ギターとワイヤレス接続する

THR30IIA Wirelessは、Relay G10T(別売)と、ワイヤレス接続ができます。また、Relay G10Tを10秒以上、THR30IIA Wireless上面の[GUITAR]端子に接続することで、最適なチャンネルが自動的に設定されます。ワイヤレス接続の詳細は、Relay G10Tの取扱説明書をご確認ください。

スマートデバイスと接続して使う

THR30IIA Wirelessは、スマートデバイスと接続することで、次のことができます。

- Bluetoothでオーディオを再生する
- スマートデバイスのアプリケーションでエフェクトや音色を編集する

■Bluetoothでオーディオを再生する

Bluetoothでスマートデバイスのオーディオを再生するには、THR30IIA Wirelessをペアリングモードにした状態でスマートデバイスのBluetooth設定をします。

●THR30IIA Wirelessをペアリングモードにする

1. LEDディスプレイの上部にある○が消灯していること(未接続)を確認します。
2. THR30IIA Wireless上面の[Bluetooth]ボタンを3秒以上押します。
3. LEDディスプレイの上部にある○が緑色に点滅していること(ペアリングモード)を確認します。

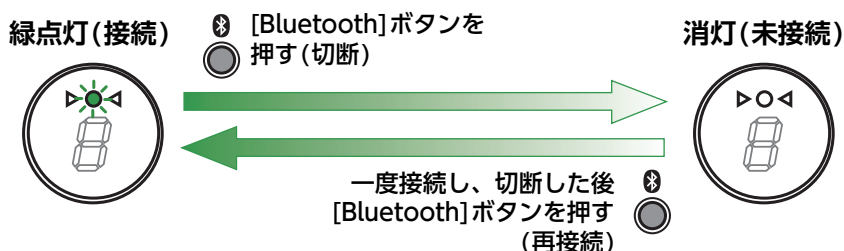
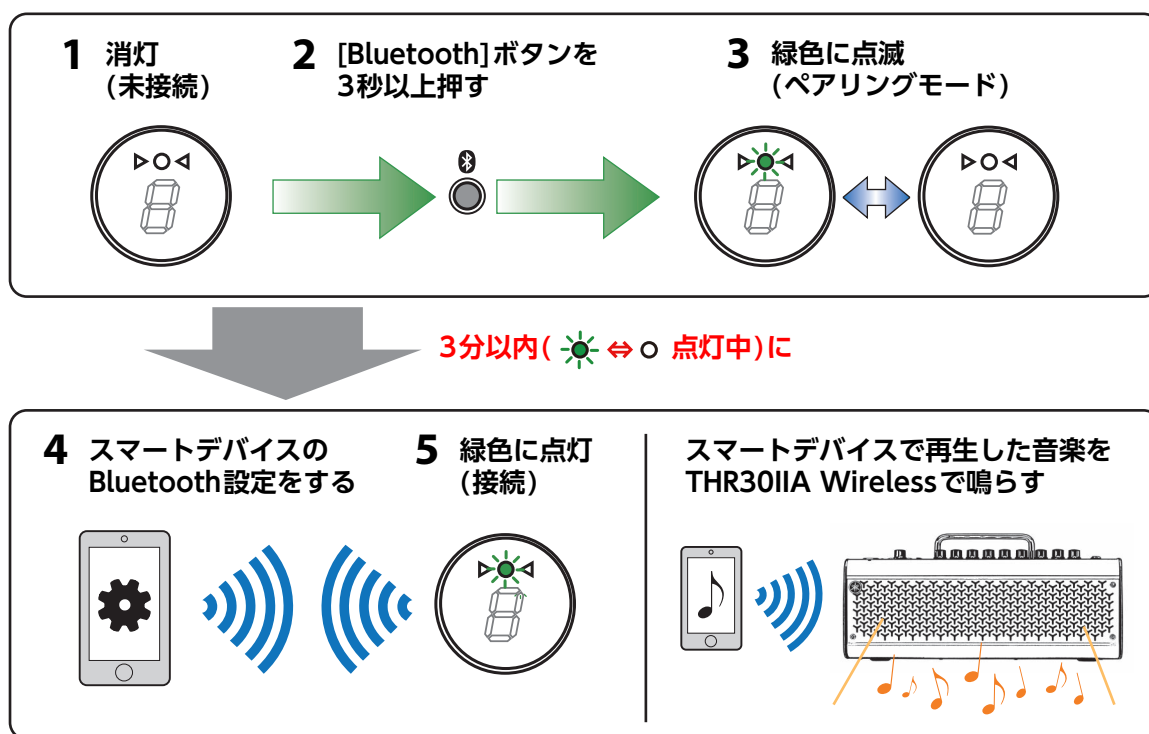
●スマートデバイスのBluetooth設定をする

4. ペアリングモードになってから3分以内にスマートデバイスのBluetooth設定*を完了します。

* スマートデバイスのBluetooth設定については、スマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。

5. LEDディスプレイの上部にある○が緑色に点灯していること(接続)を確認します。

最後にスマートデバイスから音声を再生し、THR30IIA Wirelessから音が出ることを確認します。



NOTE

- THR30IIA Wirelessの電源を切り、次に電源を入れた時に、Bluetooth接続した記録がTHR30IIA Wirelessとスマートデバイスの両方に残っている場合は、自動的に再接続します。

■スマートデバイス上でエフェクトや音色を編集する

スマートデバイス上でエフェクトや音色を編集するには、スマートデバイスに「THR Remote」をインストールします。

●THR Remote のインストール (Android、iOS)

1. スマートデバイス上でアプリケーションの配布サービスにアクセスします。
Android搭載機器の場合：Google Play*
iOS搭載機器の場合：App Store
2. 「THR Remote」を検索します。
3. 表示される画面の指示に沿ってTHR Remote をダウンロード、インストールします。

●Bluetooth MIDIの設定

1. THR Remoteを起動します。
2. 画面上のBluetoothアイコンをタッチします。
3. 表示される画面の指示に沿ってLE_THR11と接続します。

●THR Remoteを起動する

THR Remote をスマートデバイス上で起動します。

THR Remote上で作成したセッティングは、THR3011A Wireless 本体の[USER MEMORY]ボタンを3秒以上押すことでTHR3011A Wireless本体のメモリーに保存できます(5ページ)。

* Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

コンピューターと接続して使う

THR30IIA Wirelessは、コンピューターとUSBで接続することで、次のことができます。

- コンピューター上で再生したオーディオをTHR30IIA Wirelessで鳴らす
- Cubase AIを使って録音をする
- コンピューター上でエフェクトや音色を編集する

■コンピューター上で再生したオーディオをTHR30IIA Wirelessで鳴らす

●設定、操作

コンピューターのオーディオ出力先を、THR30IIA Wirelessに設定します。

Windows の場合

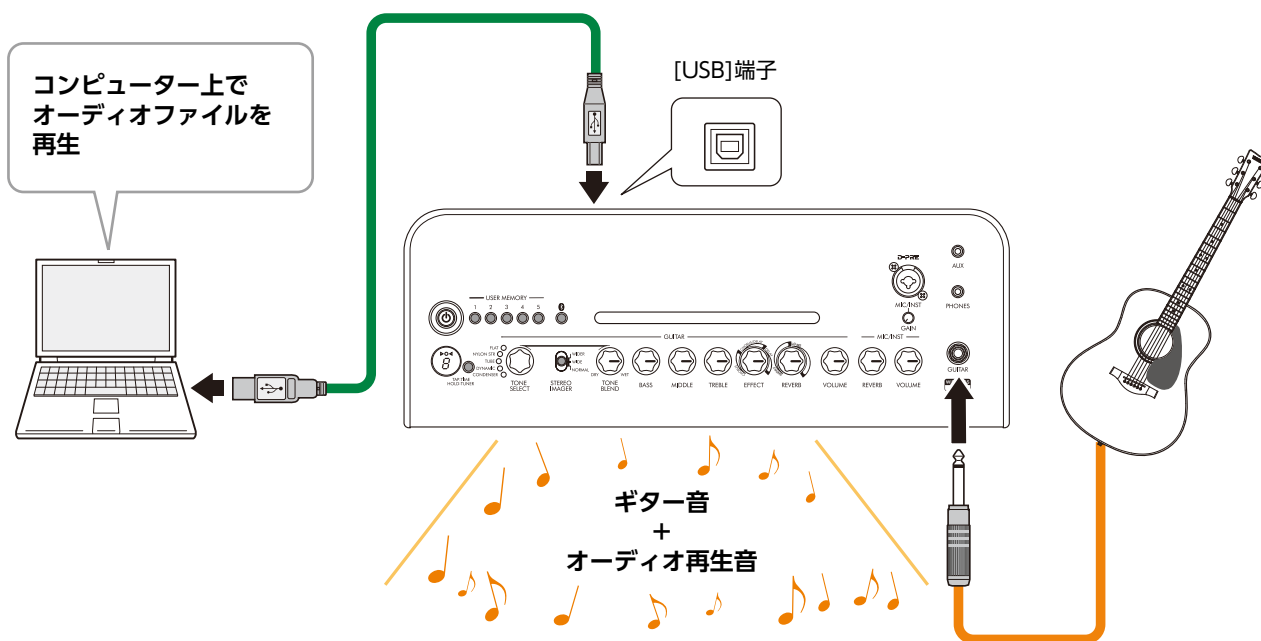
コントロールパネル→サウンド→【サウンド】タブ

Mac の場合

システム環境設定→サウンド→【出力】タブ

下図のようにコンピューターのUSB端子とTHR30IIA Wirelessの[USB]端子を、USBケーブルで接続します。

【USB 接続】



コンピューター上で再生したオーディオをTHR30IIA Wirelessで鳴らし、それに合わせてギターを弾くことができます。

■ Cubase AI を使って録音する

● Cubase AI のインストール

THR30IIA Wirelessには、スタインバーグ製音楽編集ソフトウェア「Cubase AI」のダウンロードアクセスコードが同梱されています。Cubase AIを使うと、THR30IIA Wirelessに接続したギターの録音や、曲の編集ができます。

【Cubase AI の動作環境】

最新の情報は、以下のスタインバーグのウェブサイトをご確認ください。

<http://japan.steinberg.net/>

【インストールの手順】

同梱の「Cubase AI ダウンロードインフォメーション」の内容にそって、ソフトウェアをダウンロード*、インストール*、アクティベーションしてください。

* インターネット接続環境が必要です。

● THR30IIA Wireless との設定

コンピューターのUSB 端子とTHR30IIA Wirelessの[USB]端子を、USB ケーブルで接続します。(12ページ：図 USB 接続)

NOTE

- Cubase AIの詳しい操作方法は、Cubase AIのヘルプ(下図参照)をご確認ください。



■ コンピューター上でエフェクトや音色を編集する

● THR Remote のインストール (Windows、Mac)

1. 以下のウェブサイト から、「THR Remote」をダウンロードし、展開します。

<https://jp.yamaha.com/support/>

NOTE

- 動作環境は、上記ウェブサイトをご確認ください。
- THR Remoteは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記ウェブサイトをご確認ください。

2. THR Remoteをコンピューターにインストールします。

● インストール後の設定、操作

コンピューターのUSB 端子とTHR30IIA Wirelessの[USB]端子を、USB ケーブルで接続します。(12ページ：図 USB 接続)

THR Remote上で作成したセッティングは、THR30IIA Wireless本体の[USER MEMORY] ボタンを3秒以上押すことでTHR30IIA Wireless本体のメモリーに保存できます(5ページ)。

困ったときは？

電源が入らない

- 電源アダプターを正しく接続してください(→ [8ページ](#))。
- 電源アダプターを使用していない場合は、THR30IIA Wireless本体の充電ができていないことを確認してください(→ [9ページ](#))。

音が出ない

ケーブル接続でギターの音が出ない

- [GUITAR]端子にギターを正しく接続してください(→ [7ページ](#))。
- ギターのボリュームが上がっていることを確認してください。
- [VOLUME]つまみが最小ではないことを確認してください(→ [5ページ](#))。
- THR30IIA Wireless本体のスピーカーから音を出す場合は、[PHONES]端子にヘッドホンを接続しないでください(→ [5ページ](#))。
- THR RemoteでCOMPRESSORのLevelを0に設定しないでください(→ [11](#)、[13ページ](#))。
- チューナー機能をオフにしてください(→ [3ページ](#))。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

ワイヤレス接続でギターの音が出ない

- Relay G10Tを使用してください。Relay G10T以外のギターワイヤレス トランスミッターは使用できません。
- Relay G10Tを10秒以上THR30IIA Wireless上面のINPUT端子に接続してください。最適なチャンネルが自動的に設定されます。
- ギターのボリュームが上がっているか確認してください。
- チューナー機能をオフにしてください(→ [3ページ](#))。

マイクや楽器の音が出ない

- [MIC/INST]端子にマイクや楽器を正しく接続してください(→ [7ページ](#))。
- 楽器のボリュームが上がっていることを確認してください。
- ダイナミックマイクを使用してください。コンデンサーマイクを直接接続しても、電源を供給できず使えません。

Bluetooth接続でオーディオの音が出ない

- LEDディスプレイの表示状態を確認してください。消灯、もしくは緑色に点滅状態では接続できていません(→ [17ページ](#))。
- スマートデバイスのBluetooth設定がオンになっている場合は、一度オフにしてから「Bluetoothでオーディオを再生する」の設定をしてください(→ [10ページ](#))。
- スマートデバイスのBluetooth設定画面における、THR30IIA Wirelessの登録を一度削除してから「Bluetoothでオーディオを再生する」の設定をしてください(→ [10ページ](#))。
- スマートデバイスとTHR30IIA Wirelessを近づけてください。
- THR30IIA Wirelessの電源を入れなおしてください(→ [8ページ](#))。
- スマートデバイスを再起動してください。
* スマートデバイスのBluetooth設定については、スマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。
- 他のWi-Fi機器やBluetooth機器の接続を切ってください。近くにある他のWi-Fi機器やBluetooth機器の影響で、接続が切れることがあります。

USB接続でコンピューターの音が出ない

- USBケーブルを正しく接続してください(→ [12ページ](#))。
- オーディオ出力先の設定を確認してください(→ [12ページ](#))。
- コンピューターもしくはアプリケーションの出力設定が、ミュートまたは消音ではないことを確認してください。
- USBケーブルが断線していないか確認してください。

AUX接続で外部機器の音が出ない

- 外部機器とのケーブルを正しく接続してください (→ [7ページ](#))。
- 外部機器のボリュームが上がっていることを確認してください。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

その他

マイクがハウリングを起こす

- マイクの向きをTHR30IIA Wirelessのスピーカーと反対方向にしてください。マイクとTHR30IIA Wirelessの距離を広げてください。

タップテンポが設定できない

- CHORUS/DELAYまたはDELAYを選択してください。
- CHORUSにはタップテンポは設定できません(→ [3ページ](#))。

LED ディスプレイに#が表示される

- エクステンデッド ステレオ設定がオフになっている場合は#が表示されます(→ [3ページ](#))。

THR30IIA Wireless本体のバッテリーの充電ができない

- THR30IIA Wirelessの内蔵充電池が適温になるまで、室温に置き、使用をお控えください。十分な時間が経っても充電ができない場合は、内蔵充電池がエラーをおこしている可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

Relay G10Tの充電ができない

- Relay G10TをTHR30IIA Wirelessの[GUITAR]端子から一度抜いた後、充電を再開する場合は、2秒以上たってからTHR30IIA Wirelessの[GUITAR]端子に接続してください。

音量が小さい

- THR30IIA Wirelessの内蔵充電池が適温になるまで、室温に置き、使用をお控えください。安全上の観点から、内蔵充電池の温度が上がると音量を制限する仕様になっています。

充電がすぐにきれる

- THR30IIA Wirelessの内蔵充電池が寿命をむかえている可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
 - 機能を維持するため、半年に一度は充電してください。
 - 充電池には寿命があります。使用回数や時間の経過によって容量が少しずつ低下します。
 - 充電池の寿命は保管方法、使用状況や環境によって異なります。

仕様

技術仕様

デジタル部

搭載トーン

CONDENSER*、DYNAMIC*、TUBE*、NYLON STR、FLAT

* マイクシミュレーション

搭載エフェクト

- CHORUS、CHORUS/DELAY、DELAY
- SHORT REVERB、LONG REVERB
- COMPRESSOR*

* THR Remoteで選択可能です。

クロマチックオートチューナー内蔵

つまみ/スイッチ

TONE SELECT、TONE BLEND、BASS、MIDDLE、TREBLE、EFFECT、REVERB、VOLUME、MIC/INST REVERB、MIC/INST VOLUME、USER MEMORY ボタン × 5、TAP/TUNER ボタン、STEREO IMAGERスイッチ、Bluetooth ボタン

ディスプレイ

LED × 1

接続端子

GUITAR(標準フォーンモノジャック、アンバランス)
MIC/INST(XLR/標準フォーン コンボジャック、バランス/アンバランス)

LINE OUT(標準フォーンジャック、インピーダンスバランス)

PHONES(ステレオミニジャック)

AUX(ステレオミニジャック)

USB TYPE B

DC IN (15V)

A/D コンバーター

24 ビット

D/A コンバーター

24 ビット

サンプリング周波数

48 kHz

メモリー数

ユーザーメモリー：5

入力レベル

GUITAR IN：-10 dBu

AUX IN：-10 dBu

MIC IN：-50 dBu

INST IN：-10 dBu

PHONES出力レベル

10 mW

定格出力

30 W (15 W + 15 W)

内蔵充電電池駆動時の最大出力

15 W (7.5W + 7.5W)

電源

電源アダプターまたは内蔵充電電池で駆動

電源アダプター (YNT345-1530)

内蔵充電電池

連続駆動時間*：約5時間

* 使用状況により異なる

消費電力

22 W

寸法(W x H x D)

420 x 195 x 155 mm

質量

4.4 kg

付属品

- 電源アダプター (YNT345-1530) × 1
- クイックガイド × 1
- セーフティインストラクションズシート
- サービス拠点リスト × 1
- Cubase AI ダウンロードインフォメーション × 1

Bluetooth

Bluetoothバージョン：Bluetooth Ver. 4.2

対応プロファイル：A2DP

対応コーデック：SBC

無線出力：Bluetooth class 2

最大通信距離：約10 m (障害物がないこと)

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

電源ボタンLED状態一覧

■電源アダプター未使用時

赤



は電源オン

消灯



は電源オフ

■電源アダプター使用時

緑



は充電中

赤



は満充電、かつ電源オン

消灯



は満充電、かつ電源オフ

充電エラー表示

点滅(緑↔赤)

電源オンの状態で  ↔  は、充電エラー

点滅(緑↔消灯)

電源オフの状態で  ↔  は、充電エラー

内蔵充電電池が充電エラーをおこした場合は、すぐにTHR30IIA Wirelessの電源をオフにし、電源アダプターを抜き、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

